

諏訪古墳(行田市)

この細い道を入って行くと諏訪神社がある



ここが諏訪神社で社殿が鎮座するこの高まりが佐間古墳群に属する諏訪古墳/円墳/東側から見たところ



正面が諏訪神社社殿



こちらに説明板が立っている



口 碑

言い伝えによると佐間の諏訪神社は忍城主で
成田氏長氏が天正年間（一五七三―一五九三）に創設
したものとあります。本社である長野県の諏訪大社の
上社、下社にならって下社として佐間の諏訪神社を建立
されたとも言われています。祭神も「健御名方命」で、
諏訪大社と同じです。忍城の総鎮守で東照宮の所に
あるのが男神で、佐間の神社が女神であります。
諏訪湖と挟んで上社、下社に分かれての「御柱祭」や
諏訪湖の結氷で豊作を占う「御神渡」の儀式が
有名ですが、それと同時に上社の男神が、下社の女神
の所に通う伝説が付随しています。
この言い伝えが忍の諏訪神社にもあると言われています。

振り返って見たところ/こう見るとそれなりの高まりになっているのが見てとれる



社殿裏を見たところ



これは南西方向から墳丘全体を見たところ



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/gvoda_suwa/

<http://blog.goo.ne.jp/kuni-furutone118/e/aeb4797ed610599071a57260498c5b41>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BD%90%E9%96%93%E5%8F%A4%E5%A2%B3%E7%BE%A4>

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3i-aid/kofun/saitama/68_gyda/sama.html

